

高校日本史プリント (過去問類似)

中世 No.7

名前

得点

/10

問1 室町幕府において、将軍を補佐して政務を統括し、足利一門の有力守護大名である細川・斯波・畠山の3氏から交代で任命された役職を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 管領 2. 執事 3. 所司 4. 探題

問2 鎌倉幕府が、二度にわたる蒙古襲来ののち、九州地方の防衛強化や現地の御家人の統制・裁判業務を迅速に行うために、1293年に博多に設置した機関は何か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 京都守護 2. 奥州奉行 3. 鎮西探題 4. 長門探題

問3 1180年、平清盛が日宋貿易の拠点である大輪田泊に近い自らの本拠地へと、京都から一時的に都を移した出来事を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 福原遷都 2. 長岡遷都 3. 平安遷都 4. 平城遷都

問4 室町幕府8代将軍の妻である日野富子は、夫が政務を放棄した時期に幕政に関与し、大名らへの資金貸し付けなどの金融活動を行った。彼女が資金を貸し付けた「自軍の大名小名」が関与し、将軍の後継問題や守護大名の対立を背景に京都を中心に発生した、室町幕府の衰退を決定づけた戦乱は何か。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 永享の乱 2. 嘉吉の乱 3. 応永の乱 4. 応仁の乱

問5 室町時代には、交通や交易の要衝として多様な都市が発達した。伊勢湾に臨む港町であり、のちに東海道の宿駅や伊勢参詣の拠点としても栄えた都市の名称として正しいものを、次のうちから一つ選べ。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 博多 2. 桑名 3. 兵庫 4. 敦賀

問6 鎌倉幕府が1293年に博多に鎮西探題を設置し、北条氏一門を派遣して九州の御家人の統制や裁判業務、防衛強化に当たらせる直接の契機となった、13世紀後半にモンゴル帝国(元)とその属国である高麗の軍勢が日本に侵攻した事件を何というか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 文永 2. 弘安 3. 元寇 4. 倭寇

問7 鎌倉幕府の初代侍所別当を務めた有力御家人が、第2代執権による権力集中に反発して1213年に挙兵したものの、敗死して一族が滅亡した事件を何というか。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 霜月騒動 2. 二月騒動 3. 和田合戦 4. 宝治合戦

問8 鎌倉時代には、新仏教の開祖の生涯や布教の足跡を描いた作品が数多く制作された。このうち、全国を巡行して踊念仏を広めた宗派の開祖の生涯を描き、当時の地方の市(市場)や庶民の生活、武士の館などの様子を写実的に伝えている、法眼円伊が描いたとされる絵巻物は何か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 春日権現験記 2. 一遍上人絵伝 3. 法然上人絵伝 4. 西行法師絵伝

問9 鎌倉幕府の5代執権である北条時頼は、幕府の権威を高めるとともに北条氏の執権政治を安定させるため、前将軍の藤原頼経を京都へ送還した。これに代わって、後嵯峨天皇の皇子として鎌倉に迎えられ、最初の皇族将軍となった人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 守邦親王 2. 宗尊親王 3. 惟康親王 4. 久明親王

問10 鎌倉幕府の滅亡後に開始された新政において、倒幕にともなう混乱から生じた膨大な土地争い(所領相論)を迅速に処理するために中央に設置されたものの、訴訟の殺到や裁定の混乱を招き、武士らの不満の一因となった裁判機関の名称を答えよ。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 記録所 2. 雑訴決断所 3. 武者所 4. 恩賞方

答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 1 管領	管領は室町幕府の将軍を補佐する最高職であり、足利氏の一門である細川氏・斯波氏・畠山氏（三管領）から選ばれた。鎌倉府は東国支配のために置かれた機関であり、御料所は幕府の直轄領を指す。
問2	答え 3 鎮西探題	蒙古襲来（元寇）ののち、鎌倉幕府は九州の防衛体制を強化し、現地の御家人に対する統制や領地訴訟などの裁判を迅速に処理するため、北条氏一門を長官とする機関を博多に設置した。これが鎮西探題であり、これにより北条氏による九州支配が強化された。
問3	答え 1 福原遷都	平清盛は、自らの経済的・軍事的基盤である瀬戸内海や日宋貿易の要港である大輪田泊に直結する摂津国の地へ都を移そうとした。しかし、源氏の挙兵などの情勢不安や、旧来の貴族・寺社勢力からの強い反発を受け、わずか半年ほどで京都へ戻ることとなった。
問4	答え 4 応仁の乱	日野富子が資金を貸し付けた「自軍の大名小名」が参加した戦いは、将軍後継問題や守護大名の対立から発展した応仁の乱です。富子の金融活動は、この戦乱において自派の経済的支援や幕府財政の維持という側面を持っていました。鎌倉公方の滅亡などの他の戦乱とは直接関係しません。
問5	答え 2 桑名	桑名は伊勢湾に臨む交通・交易の要衝として栄えた港町である。室町時代には、このような港町のほかに、一向宗の寺院を中心に周囲に濠や土塁を巡らせて形成された富田林などの寺内町や、社寺の門前に発達した門前町など、多様な都市が成立した。
問6	答え 3 元寇	13世紀後半、フビライ＝ハン率いる元と高麗の連合軍が2回にわたって九州北部に侵攻した。この未曾有の国難に対し、鎌倉幕府は九州の防衛体制を恒久化し、現地の御家人を強力に統制する必要に迫られたため、鎮西探題を設置した。
問7	答え 3 和田合戦	鎌倉幕府の初代侍所別当であった和田義盛は、第2代執権である北条義時による執権権力の強化に反発し、1213年に挙兵した。この戦いは和田合戦と呼ばれ、将軍源実朝を擁する北条氏によって和田一族は滅ぼされた。これにより北条氏の執権政治の基盤がさらに固まることとなった。
問8	答え 2 一遍上人絵伝	時宗の開祖である一遍の生涯や布教の旅を描いたこの作品は、鎌倉時代後期に一遍の弟子である聖戒が企画し、法眼円伊が作画したとされる。全国各地の景観や、備前国福岡の市に代表される当時の交易の様子、庶民や武士のリアルな生活実態が細かに描写されており、美術的価値だけでなく、中世社会史の貴重な歴史史料として高く評価されている。
問9	答え 2 宗尊親王	5代執権の北条時頼は、反北条勢力が前将軍の藤原頼経を担ぎ上げるのを防ぐために彼を京都へ送還し、1252年に後嵯峨天皇の皇子を将軍として迎えた。これにより、以後の鎌倉将軍は皇族から迎えらるる皇族将軍の時代となった。
問10	答え 2 雑訴決断所	後醍醐天皇が開始した建武の新政では、倒幕後の混乱に伴う膨大な所領相論（土地争い）を迅速に処理するため、中央に雑訴決断所が設置された。しかし、処理能力を超えた訴訟の殺到や、天皇の綸旨（意思表示）が裁判結果を覆すなどの不公平な裁定により、武士や貴族の間で不満が高まる原因となった。なお、恩賞の処理を行う恩賞方や、京都の治安維持を担う武者所なども同時に設置されている。